

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	朝来市 (282251)
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市山東町粟鹿地域 (和賀区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	30.64 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	25.66 ha
② 田の面積	29.38 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.25 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	1.41 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	1.43 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

- ・区域内の農地は、ほぼ圃場整備済であり、委託管理農地が多いが、自作農業者だけでなく、受託農業者も後継者問題を抱えているように思う。また受託農業者の多くが、区域外であることも地域としての一体感や自立意識を損ねて将来の在り方を考えにくくしているものと考えられる。
- ・自作農地周辺の草刈り等の環境整備ある程度できているが、委託農地の周辺の環境整備はできていない状況にある農地も散見される。
- ・水路の経年劣化での灌漑の困難さから、一部地域では農業離れに拍車をかけている側面もある。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・30ha未満の農地に受託農業者が管理する多くの農地があることから将来に向けて効率化を図るためには、受託者同士の話し合いによる調整も必要である。
- ・農業の楽しさや意義を感じられるような仕組を地域を挙げて連携しながら作り上げることも重要と考える。
- ・個人農業者の中にもコウノトリ米や朝倉山椒等の高付加価値の産物を生産している事例もあり、地域の中でもっと交流を深めてそれらの産物を産地化していけば、農作業や流通の効率化が図れると考える。
- ・個人農業者の一定の役割をもつ農業の担い手であるが、彼らの余剰産物を非農業者に還流する仕組みを作れば、より地域としての一体感の醸成を図れるのではないかと考える。
- ・経済的に成立する農地は、できるだけ早いうちに所有権を移転することも今後の農地管理や農地集約が難しくなり、また相続人の分散による弊害も抑えることができると考える。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
区内農業者の高齢化が進んでおり、後継者作りが喫緊の問題である。近隣の農業者と連携した農地利用が必要である。 個人農業者の自覚と責任感、区民による区内の農地を守るという一体感を持つことで農地環境を守り利用する必要がある。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	65.8	%	将来の目標とする集積率
			75.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地を集団化し、圃場や機械の大型化、先端技術を導入することで効率化を図るためにも行政の動きを注視しながら検討を行う。 農地の集約化については、各農業者と対話も進め良い方向に向かうべく共有を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
農地所有者の連携を進め、一体感を持って農地や作業の集約化を進める。 合意が得られた場合は、再基盤整備の方向へ舵を切り農地の集積、集団化も進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理機構の利用も図りながら、できる限り現状の区民や近隣農業者で地域の農地と農業を維持していく。
(3) 基盤整備事業への取組
圃場の大規模化や水路の整備等、将来に向けて基盤整備は必須であり、農地所有者、近隣区及び行政とも連携、協力をしていく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
区内農業者の集約を図るとともに新規就農者との意見、情報交換をしながら連携を深めていく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
豊富な知識とノウハウを有しているJAとの連携を密にして時にアドバイスを頂きながら農業経営の安定基盤を築く。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①鹿・イノシシの被害対策として、侵入防止柵の設置等を継続して行う。
- ②コウノトリ米の栽培やレンゲの栽培にて無農薬・減農薬を目指す。
- ⑧大規模化に合わせた施設の新設を目指す。

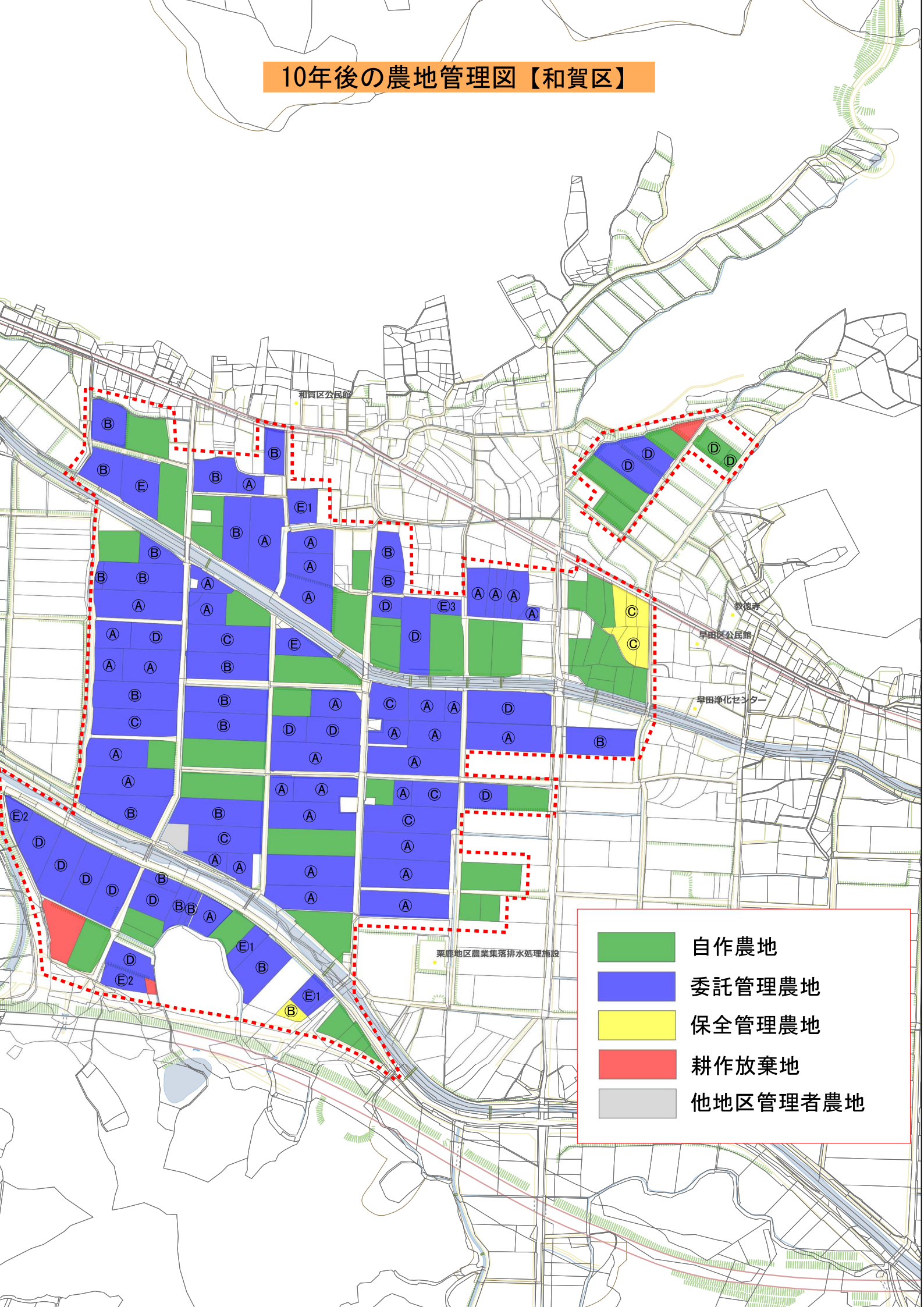


4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考	
1	集	集落営農組織 A	水稲、麦	5.79 ha	ha	水稲、麦	6.93 ha	ha	A	○
2	認農	認定農業者 A	水稲	3.75 ha	ha	水稲	3.75 ha	ha	B	○
3	認農	認定農業者 B	水稲	1.58 ha	ha	水稲	1.87 ha	ha	C	○
4	認農	認定農業者 C	水稲	2.56 ha	ha	水稲	2.56 ha	ha	D	○
5	利用者	その他農業者 A	水稲、野菜	0.34 ha	ha	水稲、野菜	0.34 ha	ha		
6	利用者	その他農業者 B	水稲、野菜	1.43 ha	ha	水稲、野菜	1.43 ha	ha	E1	
7	利用者	その他農業者 C	水稲、ねぎ	0.79 ha	ha	水稲、ねぎ	0.79 ha	ha	E2	
8	利用者	その他農業者 D	水稲、野菜	0.80 ha	ha	水稲、野菜	0.80 ha	ha	E3	
9	利用者	その他農業者 E	水稲、野菜	0.58 ha	ha	水稲、野菜	0.06 ha	ha		
10	利用者	その他農業者 F	水稲	0.65 ha	ha		0.00 ha	ha		
11	利用者	その他農業者 G	水稲	0.39 ha	ha	水稲	0.39 ha	ha		
12	利用者	その他農業者 H	水稲	0.35 ha	ha	水稲	0.35 ha	ha		
13	利用者	その他農業者 I	水稲	0.31 ha	ha	水稲	0.31 ha	ha		
14	利用者	その他農業者 J	水稲	0.24 ha	ha		0.00 ha	ha		
15	利用者	その他農業者 K	水稲、野菜	0.21 ha	ha	水稲、野菜	0.21 ha	ha		
16	利用者	その他農業者 L	水稲、野菜	0.16 ha	ha	水稲、野菜	0.16 ha	ha		
17	利用者	その他農業者 M	水稲、野菜	0.27 ha	ha	水稲、野菜	0.27 ha	ha		
18	利用者	その他農業者 N	水稲、野菜	0.14 ha	ha	水稲、野菜	0.14 ha	ha		
19	利用者	その他農業者 O	水稲、野菜	0.08 ha	ha	水稲、野菜	0.08 ha	ha		
20	利用者	その他農業者 P	水稲、ねぎ	0.35 ha	ha	水稲、ねぎ	0.35 ha	ha		
21				ha	ha		ha	ha		
22				ha	ha		ha	ha		
23				ha	ha		ha	ha		
24				ha	ha		ha	ha		
25				ha	ha		ha	ha		
26				ha	ha		ha	ha		
27				ha	ha		ha	ha		
28				ha	ha		ha	ha		
29				ha	ha		ha	ha		
30				ha	ha		ha	ha		



# 10年後の農地管理図【和賀区】



	自作農地
	委託管理農地
	保安全管理農地
	耕作放棄地
	他地区管理者農地